

- 2) Modulations of prefrontal and infero-temporal neuron activities during an extrafoveal vision task.
Mikami, A., Komatsu, H., Ito, S. and Kubota, K.
第4回 ヨーロッパ神経科学学会
Neurosci. Lett., Suppl. 5 (1980)
- 3) Alternation of unit activity of the monkey motor cortex to different modes of hand movement.
Matsunami, K. and Hamada, I.
VIIIth Congress of the International Primatological Society. Antropologia Contemporanea, vol. 3 p. 235 (1980)
- 4) Ipsilateral control of primate limb movements.
VIIIth Congress of the International Primatological Society. Antropologia Contemporanea, vol. 3 p. 296 (1980)
- 5) Effects of callosal stimulation on motor cortex neurons in behaving monkeys.
Matsunami, K. and Hamada, I.
XXVIII International Congress of Physiological Sciences. Proceedings of the International Union of Physiological Sciences vol. XIV p. 572 (1980)
- 6) 視覚弁別逆転課題におけるサル前頭前野下外側部のニューロン活動の解析
Komatsu, H. and Kubota, K.
第27回 生理学中部談話会 (1980)
J. Physiol. Soc. Japan (1981)
- 7) Afferent connections of the dorsomedial thalamic nucleus of monkeys studied with horseradish peroxidase, with special reference to frontal cortex.
サルの視床背内側核の求心路の同定
Arikuni, T., Sakai, M. and Kubota, K.
第4回 神経科学学術集会
Neurosci. Lett., Suppl. 6 (1981)
- 8) Intracellular synaptic potentials related to a visual attention task and their sources of monkey prefrontal neurons
サル前頭前野ニューロンのシナプス電位の解析
Sakai, M., Hamada, I. and Kubota, K.
第4回 神経科学学術集会
Neurosci. Lett., Suppl. 6 (1981)
- 9) Prefrontal neuronal activity of macaque monkeys during a visual fixation task and an auditory reaction time task.
光・音をそれぞれ手掛りとしたテコ放しタスクにおけるサル前頭前野のニューロン活動
Ito, S. and Kubota, K.
第4回 神経科学学術集会
Neurosci. Lett., Suppl. 6 (1981)
- 10) Discharges of parafloccular units during eye movement.
Mikami, A., Noda, H. and Suzumura, N.
- 11) 2DG法による随意運動遂行中の脳内活動部位の決定
松波謙一, 景山 節, 久保田 競
第58回 日本生理学会大会 (1981) 予稿集 p. 80
- 12) 視覚性弁別課題におけるサル前頭前野外側部のニューロン活動
小松英彦, 久保田 競
第58回 日本生理学会大会 (1981) 予稿集 p. 80

心理研究部門

室伏靖子・浅野俊夫
小嶋祥三・松澤哲郎

研究概要

- 1) 刺激統制にみられる大脳両半球の非対称性
室伏靖子・南雲純治
切断脳のアカゲザルの左右両半球の機能差が、サルの表情 (白黒スライド) の条件性継時弁別学習とその般化場面においてテストされ、昨年度の水平・垂直の弁別学習の結果と比較される。
- 2) ニホンザル乳幼児の認知の発達
室伏靖子・松澤哲郎
出生直後より約3年間、環境に関する認知機能の発達過程を、身体・運動・生理的発達との関連において、縦断的に追跡する。

3) チンパンジーの人工語の習得¹⁾

室伏靖子・浅野俊夫・小嶋祥三²⁾
松澤哲郎・小島哲也・藤田和生²⁾

図形語による物体名・色名の習得訓練が、記述および読解の両場面を用いて、さらに高次の概念形成の観点から分析された。

4) チンパンジーのトークンによる摂食行動の分析

室伏靖子・浅野俊夫・小嶋祥三
市販の自動販売機にコインを入れて自由に食物を得ることを訓練し、数種の食物に対する好みの程度を調べた。行動経済論の観点から、チンパンジーのトークン使用の分析が試みられる。

5) ニホンザルの集団場面におけるオペラント行動の獲得と伝播³⁾

浅野俊夫

本研究所内の放飼場の一壁面に、パネルを押すと大豆が一粒提示される自動給餌装置を設置し、どの個体が何時どれだけパネルを押したかを詳細に観察し、習得の過程やその後の維持反応と社会的順位等との関係を分析している。

6) チンパンジーの位置系列の学習

小嶋祥三

フェイディング法を用いて系列的な位置刺激の学習を検討した。その際、フェイディングを系列の初頭から導入する条件と系列の終末から導入する条件の比較がなされた。

7) ニホンザルの短期記憶に関する研究

小嶋祥三

遅延反応における「リハーサル」、「コーディング」の検討を継続するとともに、音の記憶に関する予備的研究に着手した。

8) 霊長類の色知覚の心理物理学的測定

松澤哲郎

ヒト以外の霊長類の色知覚をその行動を通じて解析する。ニホンザルに対する感覚性強化による評価法と、チンパンジーを対象とした人工語による評価法にもとづいて分析をすすめている。

9) ニホンザルにおける食物嫌悪条件づけ⁴⁾

松澤哲郎

飼育下ニホンザルを対象として、催吐剤を用いた条件づけにより、特定食物への嫌悪の形成を試みるとともに、食習慣の獲得と消去の機構の分析を行う。

総説

- 1) 浅野俊夫(1980): チンパンジーに言葉を教える。創造の世界, 36, 56-79。
- 2) 松澤哲郎(1980): チンパンジーの「言語」習得 — その歴史と現状 —。自然, 35 (8) 52-62。

論文

- 1) Murofushi, K. (1980): Cerebral dominance revealed by matching-to-sample performance in split-brain monkeys (*Macaca mulatta*). "Integrative Control Functions of the Brain" (M. Ito et al., eds.) Vol.3, Pp. 382-383, Kodansha-Elsevier, Tokyo-Amsterdam.
- 2) Kojima, S., Matsumura, M. and Kubota, K. (1981): Prefrontal neuron activity during delayed-response performance without imperative Go-signals in the monkey. *Exp. Neurol.*, 74, 396-407.
- 3) Fuji, K. and Kojima, S. (1981): Acquisition of depth discrimination in a Japanese macaque: A preliminary study. *Percept. Motor Skills*, 52, 827-830.
- 4) Hasegawa, Y. and Matsuzawa, T. (1981): Food-aversion conditioning in Japanese monkeys (*Macaca fuscata*): A dissociation of feeding in two separate situations. *Behav. Neural Biol.*, 33, 237-242.
- 5) 松澤哲郎・藤田和生(1981): ニホンザル幼児における感覚性強化の行動分析。心理学研

- 1) 久保田 競(神経生理部門), 長尾 真(京大・工学部), 神尾昭雄(筑波大・現代語現代文化学系)との共同研究。
- 2) 大学院生
- 3) 樋口義治(愛知大)との本研究所共同利用研究。

- 4) 長谷川芳典(京大・文学部), 東 滋(社会部門), 和田一雄(変異部門), 後藤俊二(サル施設), 川村俊蔵(社会部門)との共同研究。

究, 51, 351-355。

そ の 他

- 1) 小嶋祥三(1981): 遅延反応(delayed response)と前頭連合野。第19回 生理心理学・精神生理学懇話会講演抄録集, Pp. 8-17。

学 会 発 表

- 1) チンパンジーにおける人工言語の習得。
その1. 言語表出
室伏靖子・浅野俊夫・松澤哲郎
小嶋哲也・藤田和生・久保田競
長尾 真・神尾昭雄
日本心理学会第44回大会
発表論文集, 347 (1980)
- 2) チンパンジーにおける人工言語の習得。
その2. 言語受容
室伏靖子・浅野俊夫・松澤哲郎
小嶋哲也・藤田和生・久保田競
長尾 真・神尾昭雄
日本心理学会第44回大会
発表論文集, 348 (1980)
- 3) チンパンジーにおける人工言語獲得
浅野俊夫
日本行動分析研究会シンポジウム
(1980)
- 4) ニホンザルにおける行動対比
浅野俊夫・岩脇三良
日本動物心理学会第40回大会(1980)
- 5) ニホンザルにおける報酬の遅延間の選択
矢口 敬・浅野俊夫
日本心理学会第44回大会
発表論文集, 275 (1980)
- 6) 遅延反応(delayed response)と前頭連合野
小嶋祥三
第19回生理心理学・精神生理学懇話会
(1980)
- 7) アカゲザルの前頭前野ニューロン活動と遅延反応
小嶋祥三・P.S. Goldman-Rakic
日本心理学会第44回大会
発表論文集, 43 (1980)
- 8) アカゲザルの前頭前野切除からの回復: 予備的研究
小嶋祥三・P.S. Goldman-Rakic

日本動物心理学会第40回大会(1980)

- 9) ニホンザル乳幼児における感覚性強化 — 共変強化スケジュールと時間配分の検討 —
松澤哲郎
日本心理学会第44回大会
発表論文集, 277 (1980)
- 10) ニホンザルの奥行視の発達に関する研究
辻敬一郎・林部敬吉・原 政敏
松澤哲郎・中藤 淳・高崎敏治
日本心理学会第44回大会
発表論文集, 132 (1980)
- 11) ニホンザルの異質見本合わせにおける刺激統制
藤田和生
日本心理学会第44回大会
発表論文集, 291 (1980)
- 12) ニホンザルの見本合わせ学習における刺激統制
藤田和生
日本動物心理学会第40回大会(1980)

社 会 研 究 部 門

川村俊蔵・河合雅雄
東 滋・鈴木 晃
森 梅代¹⁾・足澤貞成²⁾

研 究 概 要

- 1) ニホンザル地域個体群の研究 — 木曾
川村俊蔵
木曾研究林予定地において, 3個の大型群と1個の小型群の遊動ならびに群間関係に関する調査を行っている。
- 2) ニホンザルの社会生態学, とくに自然群の環境利用とグルーピング・社会構造
東 滋・足澤貞成
ニホンザルの群れの連続した分布をゆるす環境で, 遊動する群れがしめす生活と社会現象をとらえなおすために屋久島と下北半島西部の地域個体群について継続的な調査を行っている。
- 3) ニホンザルの地域個体群の動態に関する研究
鈴木 晃
房総半島を中心として, ニホンザルの地域個体

1) 教務職員 2) 教務補佐員